(第1面)

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月30日

神戸市長 殿

## 提出者

住所 大阪市中央区本町4丁目1番13号 氏名 株式会社 竹中工務店大阪本店 執行役員本店長 名越 健二 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 06-6252-1201

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物 処理計画の実施状況を報告します。

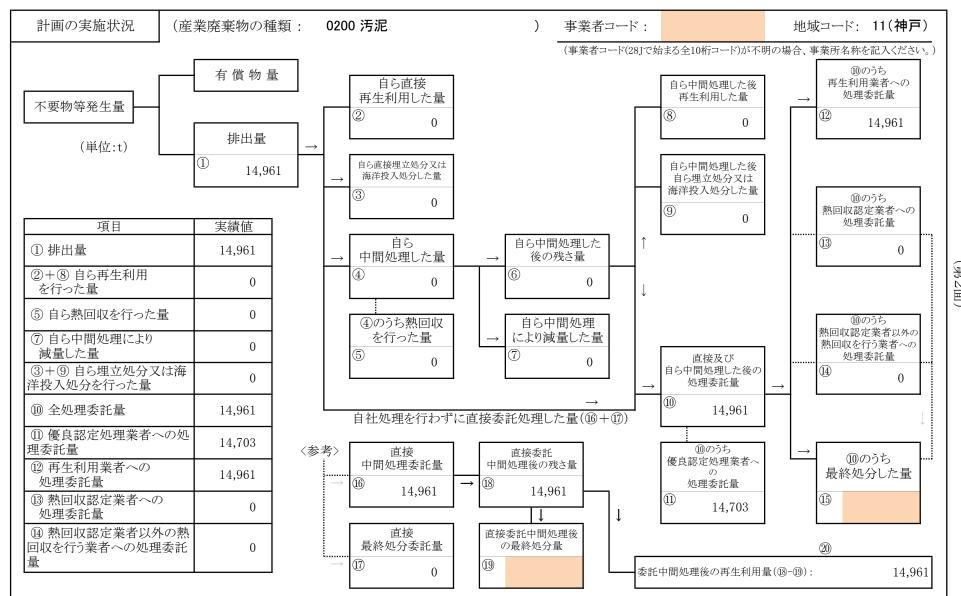
事	業場		名	称	株式会社 竹中工務店大阪本店 (神戸市内工事)
事	業場	の所	在	地	大阪市中央区本町4丁目1番13号 (神戸市内全域)
事	業	の	種	類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 期 間 令和6年4月1日~令和7年3月31日					

## 産業廃棄物処理計画における目標値

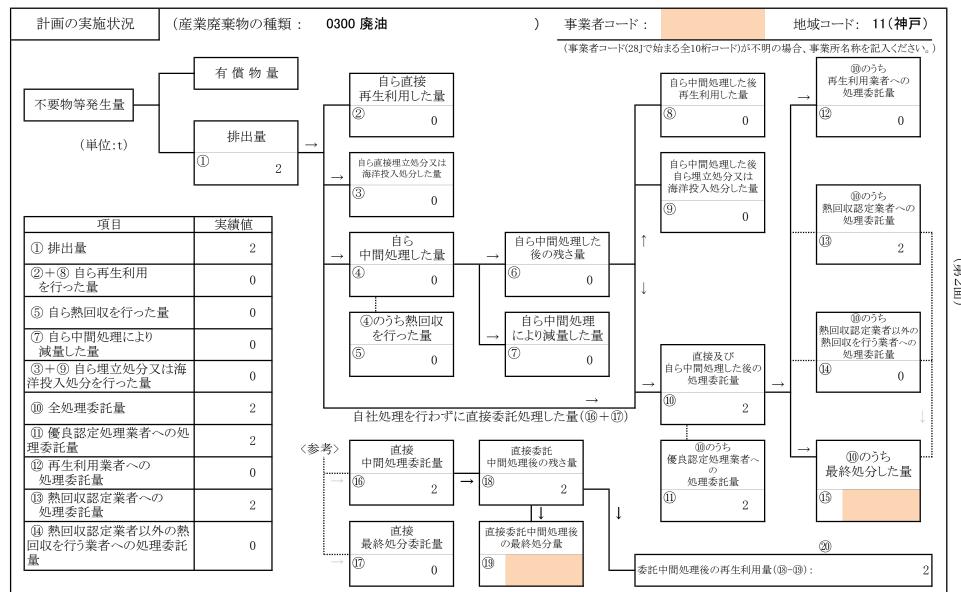
項目	目標値	項目	目標値
排出出	壹 55, 109. 04 t	全処理委託量	55, 109. 04 t
	0.00 t	優良認定処理業者への 処理委託量	628. 26 t
	0.00 t	再生利用業者への 処理 委託 量	54, 197. 09 t
自ら中間処理により減まする産業廃棄物の		認定熱回収業者への 処理 委託 量	318.48 t
海洋投棄処分を行	0.00 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	2.59 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

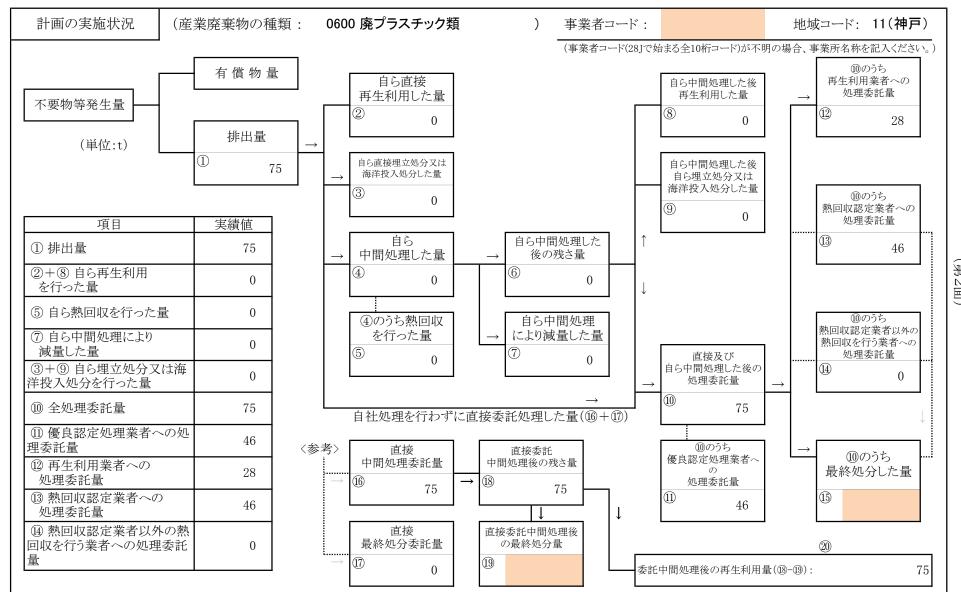




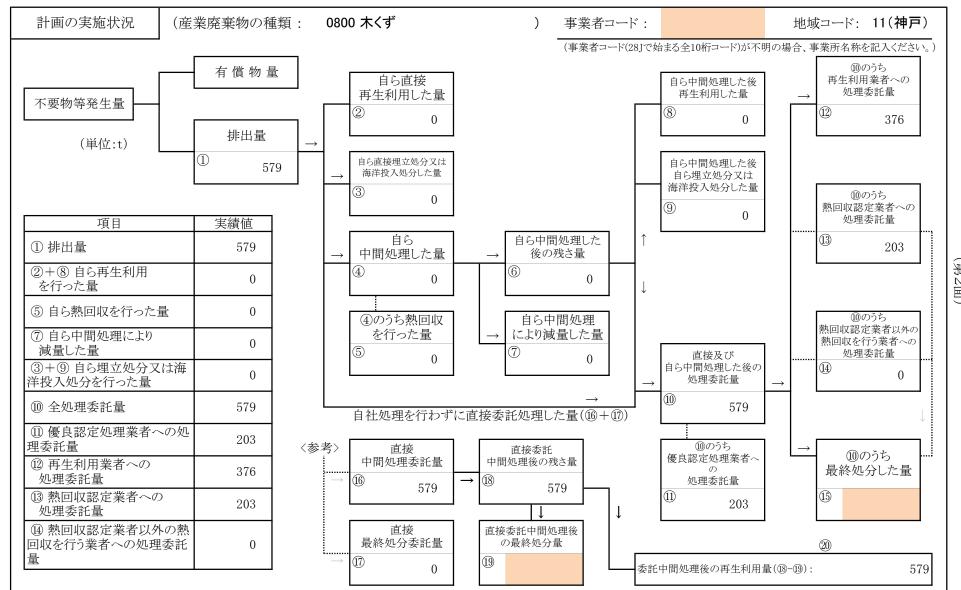




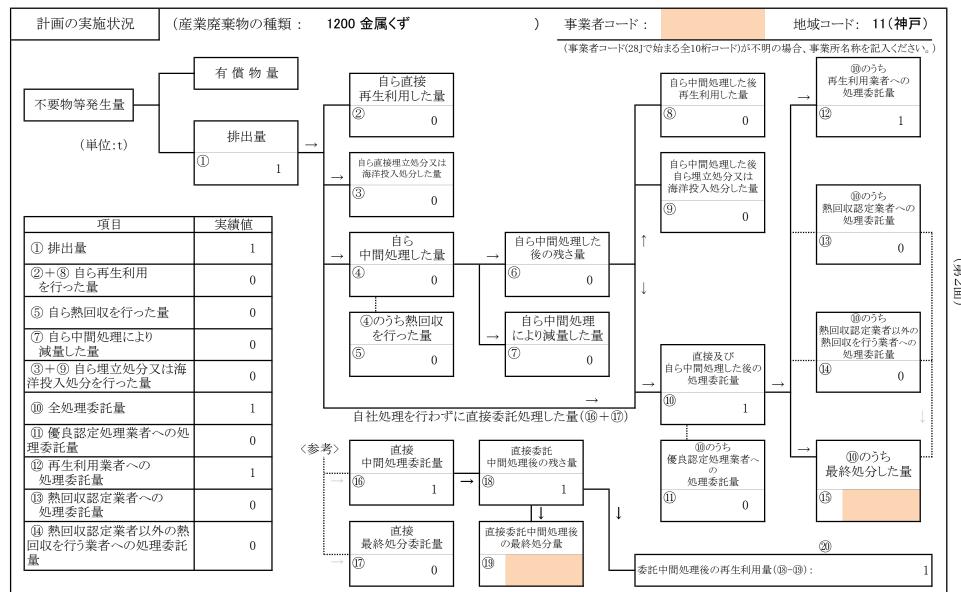




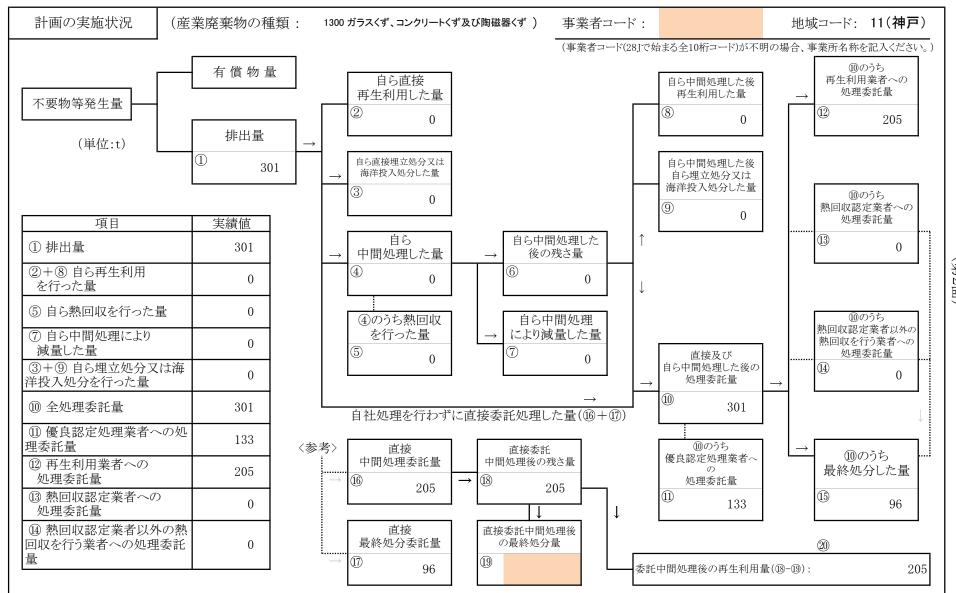




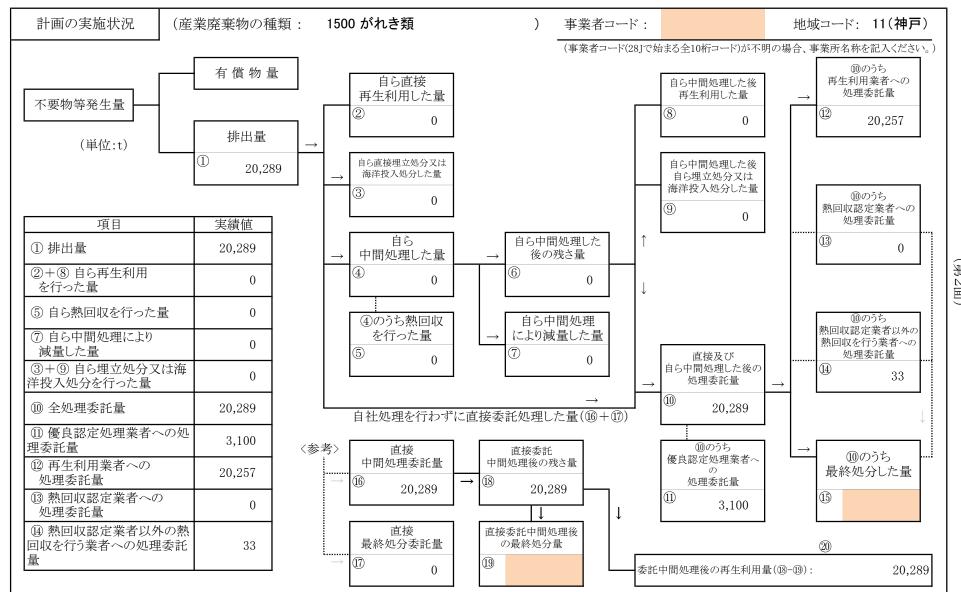




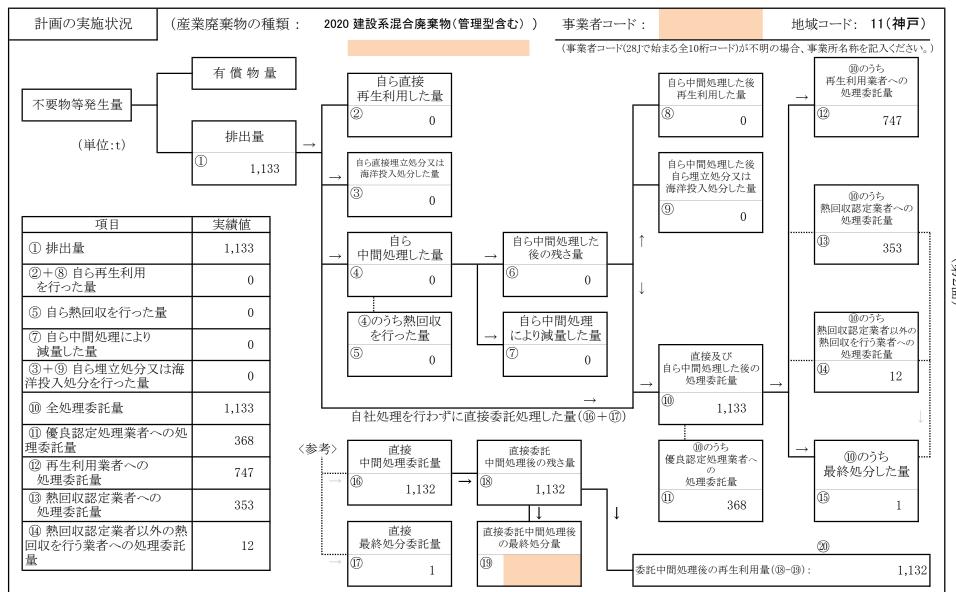




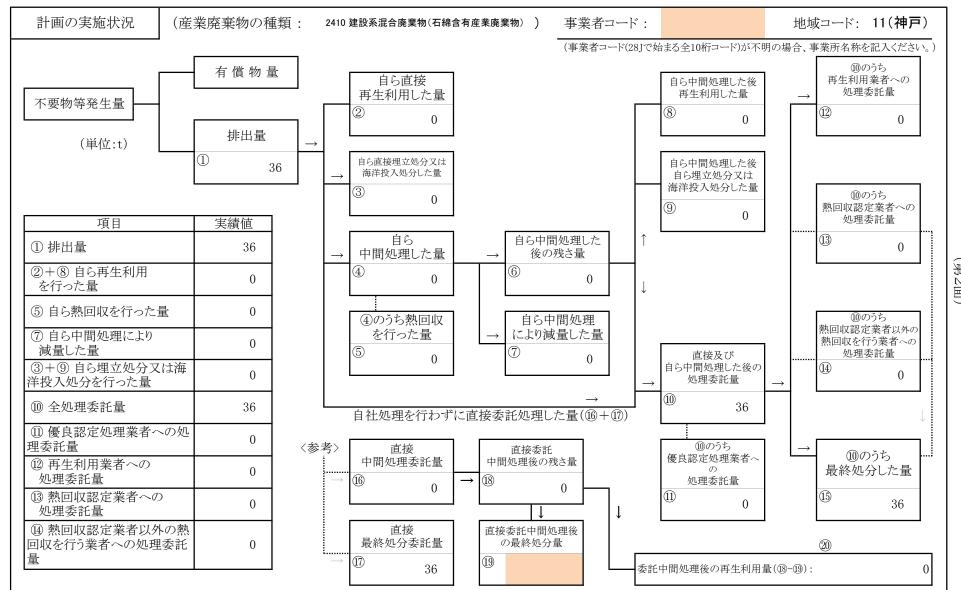




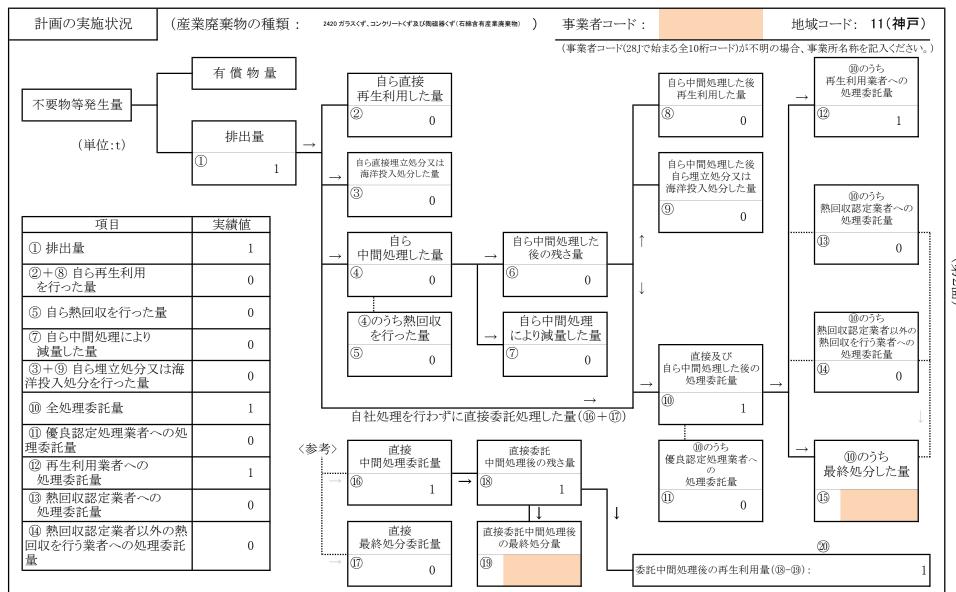




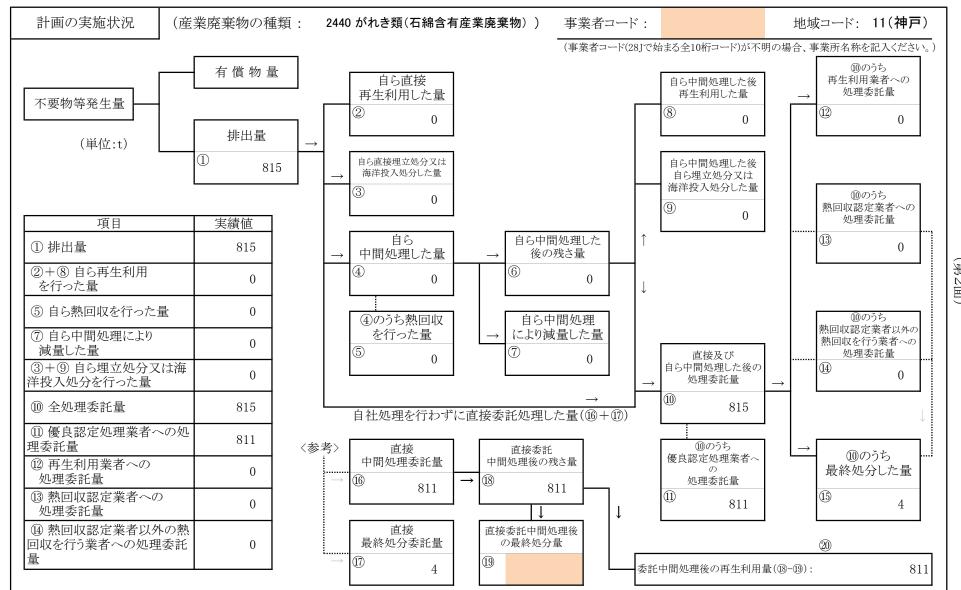




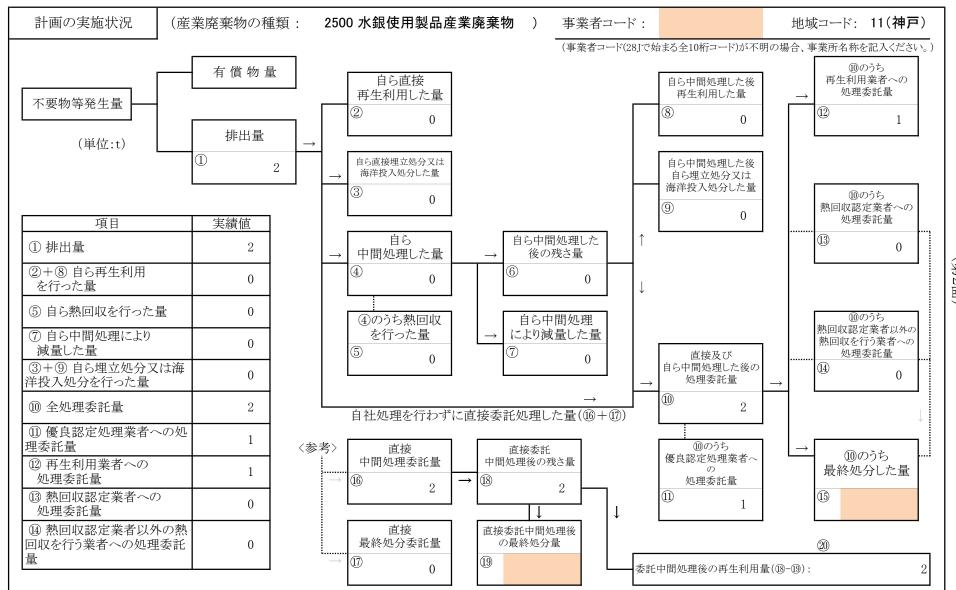












## 備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①~⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) (7)欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への 焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときには、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業 廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。